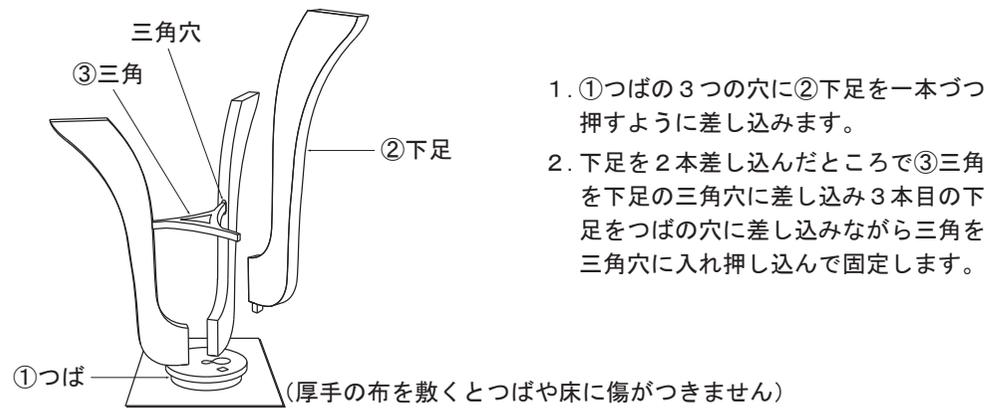
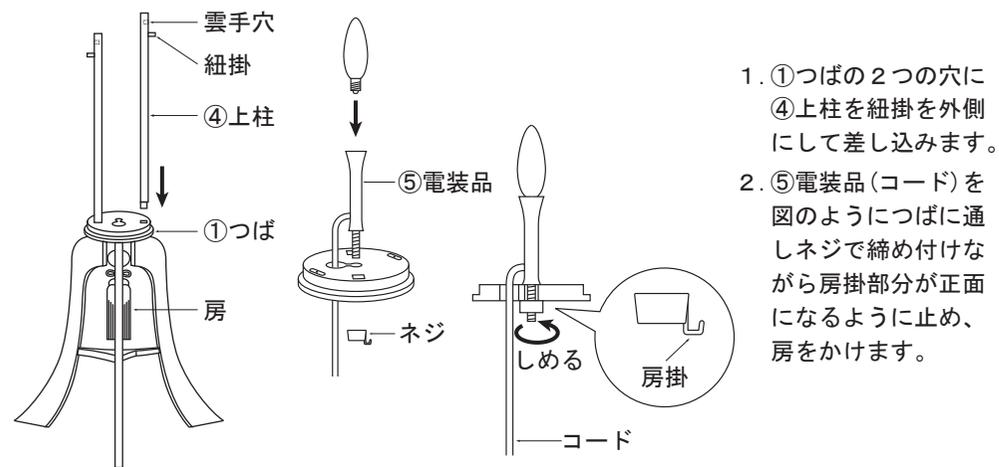


組立方法

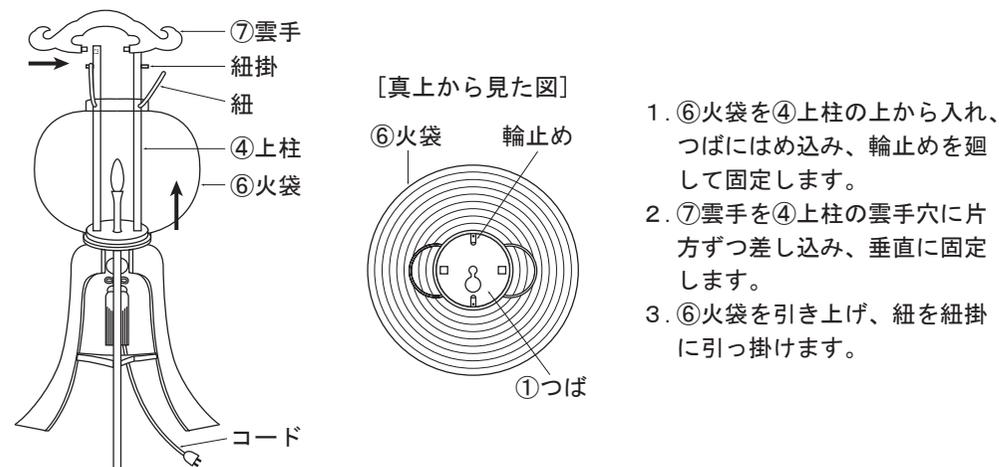
第一図



第二図



第三図

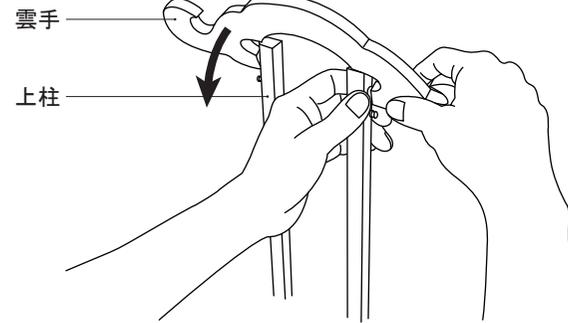


片付け方

部品を外すときの正しい持ち方が描いてあります。部品が外れにくい場合は決して無理に引っ張ったりせず、イラストを参照しながら丁寧に扱って下さい。誤った持ち方をすると、余計な力が加わり破損の原因になります。

1. 雲手を外します

火袋の紐を紐掛から外し、火袋を下げてから、雲手を外して下さい。雲手と上柱を図のように持ち、雲手を矢印の方向に小刻みに動かしながら片方ずつ外します。

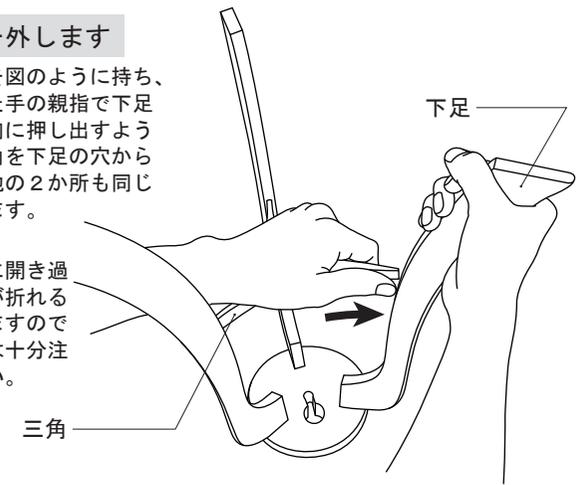


4. 三角を外します

三角と下足を図のように持ち、三角を持った手の親指で下足を矢印の方向に押し出すようにして、三角を下足の穴から外します。他の2か所も同じように外します。

〈注意〉

下足を外側に開き過ぎるとホゾが折れることがありますので取り扱いには十分注意して下さい。



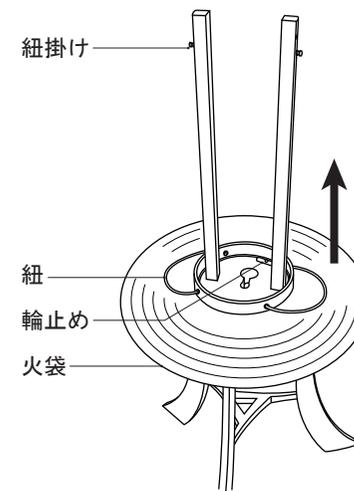
2. 火袋を外します

つばに付いている輪止めを回して火袋を矢印の方向に外します。

房や電装品等も外して下さい。電装品は開封時に納められていた箱に収納して下さい。

〈注意〉

電球の取り扱いには十分注意して下さい。電装品に付属のネジ(房掛)は必ず電装品に付けた状態で保管し、失くさないようにして下さい。

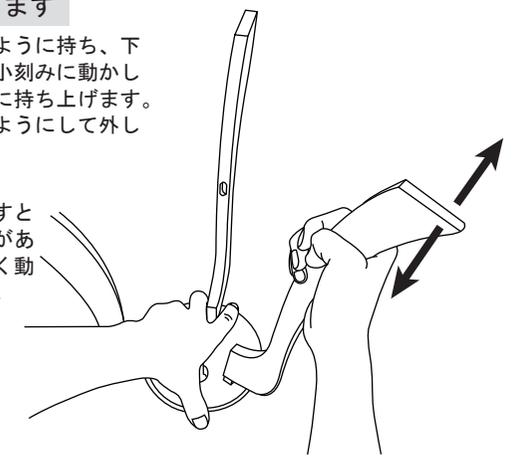


5. 下足を外します

つばと下足を図のように持ち、下足を矢印の方向に小刻みに動かしながら少しずつ上に持ち上げます。残りの下足も同じようにして外します。

〈注意〉

下足を大きく動かすとホゾが折れることがありますので、大きく動かさないで下さい。

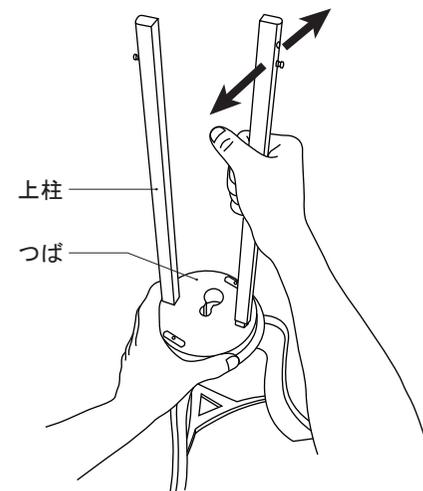


3. 上柱を外します

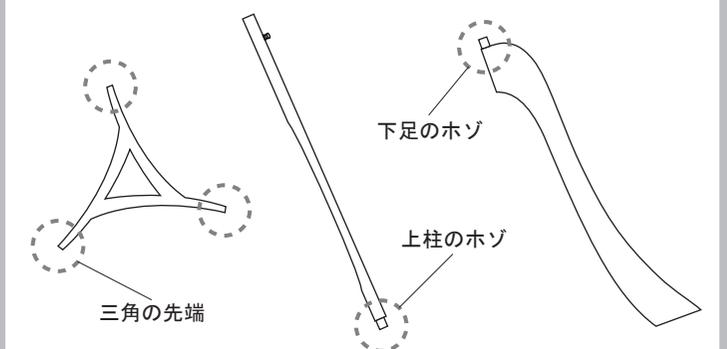
つばと上柱を図のように持ち、上柱を矢印の方向に小刻みに動かしながら少しずつ上に持ち上げます。

〈注意〉

下側に力を加え過ぎると、下足・三角が破損する恐れがあります。

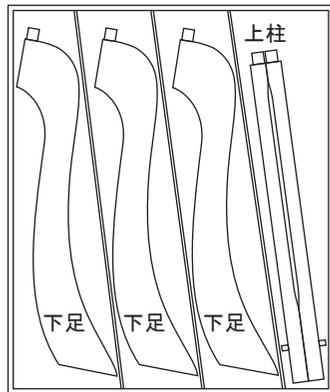


取り扱いに注意する箇所



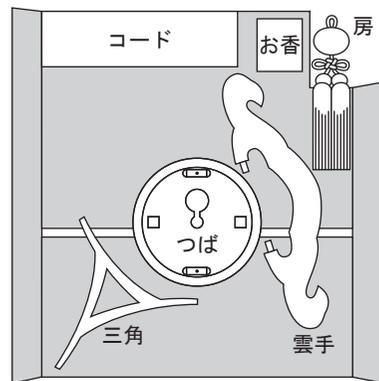
※桐材・杉材など柔らかい材質の木材は破損しやすいので取り扱いには十分注意して下さい。

収納方法



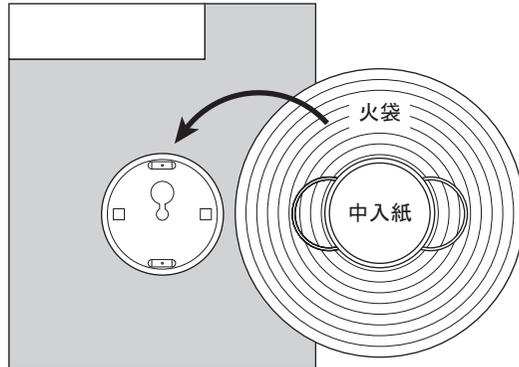
一段目

- 上柱2本、下足3本を納めます。



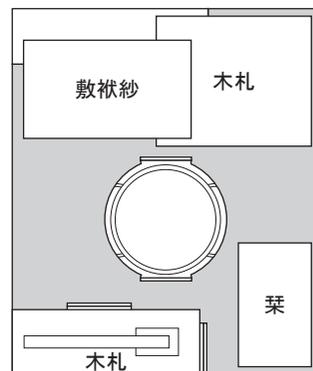
二段目

- 段ボール板を敷き、雲手、つば、三角、房、お香、コードを納めます。
(風鎮の付かない房の商品もあります。)
(お香の付かない商品もあります。)



三段目

- 段ボール板を敷き、つばに火袋を被せて納めます。
(火袋の中に中入紙を入れて下さい。)



四段目

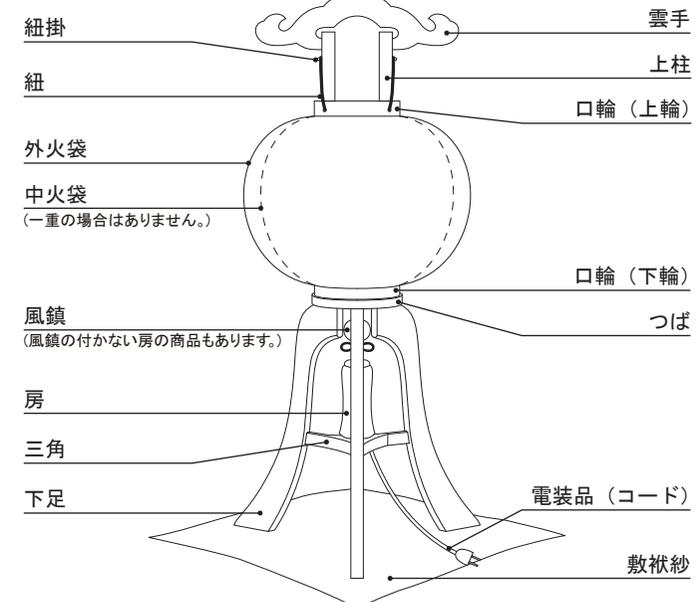
- 段ボール板を敷き、木札、敷袱紗、葉を納めます。
(木札は大小いずれかになります。)
(木札の付かない商品もあります。)

※三段目と四段目の段ボール板の形状が異なりますので図のように御使用下さい。

※防虫剤を入れる場合は、コードなどのプラスチック部品に直接触れない場所に入れて下さい。防虫剤の種類によっては直接触れた状態で長時間経過するとプラスチックが溶けるおそれがあります。

行灯取扱説明書(桐箱用)

[各部名称]



ご使用前に必ずお読み下さい

警告

- ①点灯中の電球は高温になります。点灯中はもちろん消灯後でも10分位は、電球に触れないようにして下さい。火傷をする危険があります。
- ②電球の交換や飾り付け、後片付け等の作業の際には、必ず電源を切ってから行なって下さい。感電の恐れがあります。
- ③電球はガラスできています。破損した電球が身体に触れると、傷を負う危険があります。取り外す場合は、手袋を使って注意深く行なって下さい。
- ④行灯を組み立てる時や取り外す時は、無理にはめたり、取り外したりしないで下さい。折れたり割れたりしてケガをする場合があります。

△ご使用上の注意

(1) 電装品(ローソク型電球コード) ご使用上の注意

- ①電装品(ローソク型電球コード)は、「組立方法」に従い、ネジでしっかり固定して下さい。
- ②行灯を飾る場合は、コードが引っ掛かったり、倒れたり落ちたりしない安全な場所を選んで下さい。
- ③ご使用後は必ずコンセントからプラグを抜いて下さい。プラグを抜き差しする場合は、プラグを必ず手に持って取り扱って下さい。コードを持ってコンセントから引き抜いたり、コードを踏み付けたりしないで下さい。コードが傷むと焼損や漏電の危険があります。又、濡れた手で扱うことは大変危険ですから絶対行なわないようにして下さい。
- ④一ヶ所のコンセントから複数の配線(タコ足配線)をすることは、火災の原因にもなりますから絶対に行なわないようにして下さい。
- ⑤電装品は、火や高温のものに近付けないように注意して下さい。
- ⑥お取替え用の電球は、100V~110Vで40W以下のものをお求め下さい。
- ⑦電装品を降雨中の屋外で使用することは、非常に危険ですからお止め下さい。

(2) 行灯の取り扱い上の注意

- ①行灯は、紙や絹、木材やプラスチック等、燃えやすく壊れやすい素材で出来ています。裏面記載の「組立方法」に従い、確実に行って下さい。
- ②片付ける時は、裏面記載の「片付け方」に従い、組み立てる時の逆順で行なって下さい。決して無理に引っ張ったりしないで下さい。破損の原因になります。
- ③組み立てた行灯を持ち運ぶ場合は、足の部分を持つようにして下さい。一番上の部分を持つと途中から外れることがあり、破損の原因になります。
- ④台の汚れは、乾いた柔らかい布でお拭き下さい。
- ⑤高温、多湿の部屋では、火袋や部品の変色、変形が起きる場合がありますから注意して下さい。
- ⑥片付ける時は、防虫剤を入れ、湿気の少ない場所に保管して下さい。
- ⑦この商品は、ローソクを使用することができません。

この「ご使用上の注意」と、その他の取扱説明書等がある場合は、それらをよく読み、正しくご使用下さい。また、必要時にお読みになれるよう大切に保管して下さい。